



回想すると元気になる？

校長 道本美月

去年の「学校だより6月号」を読み返すと、「降りやまない雨時はない」という少し感傷的な文章を書いていました。あるラジオ番組で「回想すると元気になる」と聴いたので、早速、試みたのですが、思い起こしてもやっぱり感傷的にならざるを得ない昨年の状況でした。

学校が通常通りに再開されたのは今年の6月15日でした。

辛いことを思い出して元気になるわけではありませんが、辛い状況の中にあって、「あの時はみんなでこんなことを乗り切った」とか「あの時、あの人がこんな声をかけてくれた」とか回想すると心が少しばかり元気になる気がします。もちろん、楽しいことを回想できれば言うことはありません！



回想すると言えば、私はこの時期、良く思い出すのは、子供時代に大好きだった水玉のワンピース、プール遊びのこと、嫌いだった夏休みの日記のこととか、……やっぱりスイカは昔のほうが美味しかったとかたわいのないことばかりですが、何となく幸せな気分になります。

今日は育誠会広報部からアンケートを頂きました。お題は「子どものころに好きだったおやつ」です。職員室でも思い出話でもりあがりました。みなさんはいかがですか？

6月21日プール開き



昨年度は水泳授業を実施出来なかったもので、2年ぶりの水泳授業となります。1年生、2年生は小学校に入って初めての授業です。従来とは変更点も多いので、学校から配布されたプリントを良く読んで頂けるとありがたいです。また、授業の参加についても各ご家庭のお考えもあると思います。柔軟な対応をしていきますので担任までご相談下さい。

プール掃除の様子をHPに載せています。暑い中、各学年の役割分担をしっかりと果たしてくれました。

紫陽花の花に寄せて



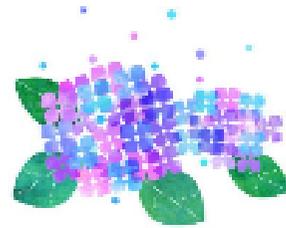
先日、2・4年生が遠足で和歌山城に行ってきました。遠足の様子を見に加太から和歌山城へ回って子どもたちを探していた時に紫陽花のいっぱい咲いた場所を通りかかって思わず足を止めました。

今日は坂村真民さんの詩を思い出したので紹介します。

あじさいの花

さかうえしんみん
坂村真民

まるくまるく
形のよいものになろうとする
やさしい心の
あじさいの花
きのうよりもきょうと
新しい色になろうとする
雨の日の
あじさいの花



色々な色の紫陽花が群生している様子は独特の世界観があっていつまでもじっと見入ってしまいます。紫陽花は花や萼（がく）が集まって、詩にあるように「まるく形のよいものになろうとする」ことから、地方によっては、「一家団欒」や「家族の強い結びつき」を表していると思われているようです。

紫陽花の丸い形から「手毬花」という別名や日を追って色を変えるところから「七変化」と呼ぶこともあるそうです。

真民さんが、紫陽花の花の中に感じ取った、優しさと向上心を持ち続けたいなと思いました。

